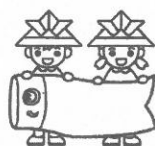


にじいろ

2020年5月14日(木) No. 2



休校期間の過ごし方

休校期間が延長され、緊急事態宣言を受けた外出自粛も続いています。みなさんどのように過ごしていますか？約一カ月前、「Time is money」（時は金なり）という言葉を紹介しましたが、時間を有効的に使えていますか？

先日の見守りコールでは、「朝起きる時間が遅くなっている」「課題がなかなか進まない」という声も聞かれましたが、その一方で、「学校が始まることを考えて、普段のリズムを乱さないように生活している」や「計画的に勉強を進めている」といった声も多く、少し安心しました。

連日、ニュースなどで報道されているように、コロナウィルスの国内感染者は1万5千人を超え、世界全体ではなんと400万人、死者数も28万人を超えるという事態になっています。沖縄では、昔から「命（ぬち）どう宝」―「命こそ宝」であるという言葉が語られてきました。こんな時代だからこそ、まさに「命（ぬち）どう宝」。自分の命、そして、他人の命を大切に、生きていきたいですね。

そして、コロナウィルスによって、中学生の全国大会や高校生のインターハイなども中止になり、みなさんの活動にも影響が出ています。部活動や外部のチームなどで熱心に活動に励んでいた人たちにとっては、目標を断たれ、モチベーションが下がってしまうこともあるかと思います。そうしたニュースを見て、「わたしが一番きれいだったとき」という詩を思い出しました。右に詩を載せているので、ぜひ鑑賞して下さい。15歳の時に太平洋戦争が始まり、19歳の時に終戦を体験された茨木のり子さん。最後に、たくましく生きていこうという強い意志で締めくくられていて、元気づけられる詩です。取り組みに対して一番力を伸ばせる時期に、様々な活動が抑制されるのは、みなさんにとってマイナスなことかもしれませんが、だからこそ、この詩のように、「～に取り組もう」「～に励もう」という決意をもって、前向きにチャレンジしてみてください。そして、ぜひ、この期間に取り組んだことについて、話を聞かせて下さいね。



わたしが一番きれいだったとき
茨木 のり子

わたしが一番きれいだったとき
街々はがらがら崩れていって
とんでもないところから
青空なんかが見えたりした

わたしが一番きれいだったとき
まわりの人達がたくさん死んだ
工場で 海で 名もない島で
わたしはおしゃれのきっかけを落としてしまった

わたしが一番きれいだったとき
だれもやさしい贈り物を捧げてはくれなかった
男たちは拳手の礼しか知らなくて
きれいな眼差しだけを残し皆死んでいった

わたしが一番きれいだったとき
わたしの頭はからっぽで
わたしの心はかたくなで
手足ばかりが栗色に光った

わたしが一番きれいだったとき
わたしの国は戦争で負けた
そんな馬鹿なことってあるものか
ブラウスの腕をまくり
卑屈な町をのし歩いた

わたしが一番きれいだったとき
ラジオからはジャズが溢れた
禁煙を破ったときのようにくらくらしながら
わたしは異国の甘い音楽をむさぼった

わたしが一番きれいだったとき
わたしはとてもふしあわせ
わたしはとてもとんちんかん
わたしはめっぽうさびしかった

だから決めた できれば長生きすることに
年とってから凄く美しい絵を描いた
フランスのルオー爺さんのように
ね



<今後の登校日のお知らせ(新2年生)>



ホームページ等でもお知らせしていますが、今後も心身状況の確認や家庭学習の確認、課題配布などのために登校日を設定しています。学校の方でも、少人数で時間を区切って実施し、換気や消毒の徹底など感染防止の対策を取っていますが、みなさんも学校に登校する際には、必ずマスクを着用し、人との間隔をとるように気をつけて下さい。

来週、再来週の登校日(2回目:5月19日(火) 3回目:5月26日(火))につきましても、旧クラス単位で、出席番号No.1~15まで→9:00~/No.16~30まで→11:00~/No.31~41まで→14:00~の時間を設定しています。時間は約60分を予定しています。

◆◆◆ 保護者の皆様へ ◆◆◆

休校期間が長引き、お子様の学習や生活の様子などで不安なことも多いと思います。お電話での対応になりますが、何か気になることがありましたら、いつでもご相談下さい。スクールカウンセリングの方も受け付けておりますので、希望される場合はご連絡下さい。今後も変更やお知らせ等がありましたら、学校のホームページとライデンメールでお知らせします。ご確認して頂くよう、よろしくお願いいたします。

